

◎サポーターほっとニュース

「サポーターほっとニュース」では、障がい者サポーターとして登録された方の活動や、サポーター制度への期待を込めたコメントやお話などの情報を紹介していきます。

第8回目は、障害者週間についてです。

【第8回】 毎年 12月3日～9日は 「障害者週間」です ～障がいのある人もない人も共に生きる社会へ～

12月9日は、1975年に国連で「障害者の権利宣言」が採択された日です。また、障害者基本法では、12月3日から9日までを「障害者週間」と定めています。

熊本市には、4万人以上の障がいのある方々が暮らしています（障害者手帳所持者数）。また、私たち自身も人生の途中で病気をしたり年をとったりして、心身の機能が低下する可能性があります。障がいのある人が暮らしやすいまちは「みんなが暮らしやすいまち」。その実現のためには、市民の皆さんの理解と協力がとても重要です。

◆平成26年度「心の輪を広げる体験作文」・ 「障害者週間のポスター」コンクール

熊本市では内閣府との共催により、障がいの有無にかかわらず、誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合う「共生社会」を目指し、障がいや障がいのある人々に対する国民の理解と関心を深めること等を目的として、毎年「心の輪を広げる体験作文」及び「障害者週間のポスター」の募集を行っています。

今年度は熊本市内の小・中学生と一般の皆さまから、作文・ポスター合わせて119作品のご応募をいただきました。入賞作品はパネル展示及び熊本市ホームページでご紹介しています。

《入賞作品のパネル展示スケジュール》

- ・平成26年12月3日～9日
ウェルパルクまもと1階ロビー
- ・平成26年12月10日～26日
熊本市役所本庁舎1階ロビー南側



平成26年度熊本市「障害者週間のポスター」
コンクール 小学生部門 最優秀賞
熊本市立黒髪小学校5年
田中 愛美さんの作品
「私と点字ブロックが守るから」

障がい者施設の商品力をアップし、障がいがある方の工賃の引き上げや働く場を確保することを目的として、11月4日に第2回目となる「平成26年度熊本市障がい者施設商品コンクール」を開催しました。当日は25施設から58点もの魅力的な商品が一堂に会し、専門家の皆さんの審査により、各部門の最優秀商品とグランプリ商品が決定しました。

また、今回は障がい者サポーターの皆さんの審査により決定する「障がい者サポーター賞」が新たに設けられました。審査を行った皆さんは様々な商品に触れてみて、新鮮な驚きや新たな発見を得たようでした。

それぞれの受賞商品は、障がい者施設商品アンテナショップ「UMU（う〜む）」などで販売されます。また、熊本市役所本庁舎8階（障がい保健福祉課前ショーケース）で展示していますので、ぜひご覧ください。

<グランプリ・食品部門最優秀賞>

社会福祉法人 慶信会 第二城南学園

◆城南クッキー詰め合わせ

無添加、熊本産にこだわった

緑茶・きなこ・黒ごまクッキーの

詰め合わせ。



<手工芸品部門最優秀賞>

・障がい者サポーター賞>

就労継続支援 B 型事業所 シャトレ

◆裂き織りのネクタイ



<アート部門最優秀賞>

社会福祉法人 愛火の会 野乃島学園

◆nonocima finger-printed tights (ノノシマ フィンガー プリンテッド タイツ)



<オフィス部門最優秀賞>

社会福祉法人

同胞友愛会 友愛育成園

◆粘土ストラップ

・キーホルダー

<審査員長特別賞>

社会福祉法人

勝縁会 明和学園

◆藍染めコサージュ



障がい者施設商品アンテナショップ UMU（う〜む）

熊本市中央区南坪井1-17（上乃裏通り）

電話：096-221-9326

